

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施状況

単位:円

No.	交付対象事業の名称	所管課	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	実施計画上の総事業費	決算額						効果の検証・評価	
					A 総事業費	B 補助対象事業費						G 補助対象外経費
							C 国庫補助額	D 臨時交付金充当額	E 起債額	F その他		
1	市内バス運行応援事業	政策秘書課	①外出自粛の中、通常運行の要請に応じている市内バス運行事及びタクシー業者に対し、奨励金を交付して事業支援を行う。 ②運行経費 ③運行台数 14台×300,000円(バス) 72台×30,000円(タクシー) ④市内バス会社、市内タクシー会社	6,360,000	6,360,000	6,360,000		6,360,000			-	外出自粛により、運賃収入が減少するなか、感染症対策を図りながら通常運行の要請に応じている市内バス運行事業者及び市内移動に欠かせないタクシー事業者に対して、奨励金を交付することにより、運休等による市民生活の停滞を回避し、地域の公共交通を維持することができた。
2	防災活動支援事業	交通防災課	①避難所設置の際の必要物品を購入し、衛生環境を保つ。 ②マスク、非接触型体温計、避難用テント、防護具、アルコール消毒液などの物品購入費 ③ (5月補正分)マスク 8,150枚×39円 非接触型体温計 5,000円×21ヶ 避難用テント 7,800円×100張 段ボールパーテーション(避難所用) 3,980円×10個 段ボールパーテーション(受付用) 677円×50セット 計 1,276,500円×1.1=1,404千円 (12月補正分)避難用テント 7,255円×120張 不織布製ガウン 828円×500着 フェイスシールド 419円×150個 アルコール消毒液 1,346円×120本 電子体温計 3,000円×35本 その他消耗品(ゴム手袋他)22,394円 計 1,636,364円×1.1=1,800千円 ④-	3,204,000	3,204,069	3,204,069		3,204,069			-	避難所における感染症対策として飛沫感染防止とともに避難された方々のプライバシーの確保となる避難用テントやパーテーションを整備したほか、衛生環境を保つための手指消毒液、体温計等を購入し、避難所の生活環境の改善を行うことができた。また、避難所を運営する職員等の感染予防対策のためのフェイスシールドやガウン、ゴム手袋等も併せて購入したことで、感染症対策を講じた避難所運営体制を図ることができた。 (件数等) ・避難用テント220張 ・パーテーション10個 ・体温計63個 ・マスク163箱 ・手指消毒液120本 ・テーブルパーテーション50個 ・ガウン500着 ・フェイスシールド150個 ・ゴム手袋10箱
3	鹿嶋市定額子育て世帯応援金	こども相談課	①新型コロナウイルス感染拡大で影響を受けた家庭の支援 ②国の特別定額給付金(1人当たり10万円)の対象外となった令和2年4月28日以降に生まれた新生児に1人当たり3万円を支給 ③給付金 3万円×38人×11月=12,540千円、通信運搬費 22千円、合計12,562千円 ④令和2年4月28日から令和3年3月31日までに生まれた新生児の保護者	12,562,000	11,810,513	11,810,513		11,810,513			-	国の特別定額給付金の対象外(R2.4.28以降に出生)となった新生児1人当たり3万円の応援金を保護者に支給。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた「子育て世帯」の経済的支援するとともに、生活不安の軽減に寄与した。
4	鹿嶋市子育て世帯応援金	こども相談課	①新型コロナウイルス感染拡大で影響を受けた家庭の支援 ②児童手当の「特例給付」の受給者に、児童1人当たり1万円を支給。 ③給付金 1万円×662人=6,620千円、通信運搬費 30千円、合計6,650千円 ④令和2年4月分(3月分含む)児童手当の「特例給付」の受給者	6,650,000	6,650,587	6,650,587		6,650,587			-	国の「子育て世帯への臨時特別給付金」の対象外となった、児童手当の所得制限を超えている方(特例給付の受給者)に、子ども1人当たり1万円を支給。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた「子育て世帯」の経済的支援するとともに、生活不安の軽減に寄与した。

No.	交付対象事業の名称	所管課	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	実施計画上の 総事業費	決算額						効果の検証・評価	
					A 総事業費	B 補助対象 事業費	C 国庫補助額	D 臨時交付金 充当額	E 起債額	F その他		G 補助対象 外経費
5	鹿嶋市子育て世帯特別応援金	こども相談課	①新型コロナウイルス感染拡大で影響を受けた家庭の支援 ②国の子育て世帯臨時特別支援金の対象とならない高校2・3年生に、1人当たり1万円を支給。 ③給付金1万円×1,230人=12,300千円、通信運搬費173千円、印刷製本 52千円、消耗品 8千円、システム借上 385千円、合計12,918千円 ④高校2・3年生(令和2年度中に満17歳、18歳となる者)の保護者	12,918,000	12,818,659	12,818,659		12,818,659				令和2年度中に満17歳・18歳となる子ども(高校2年生・3年生相当)の保護者に、子ども1人当たり1万円を支給。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた「子育て世帯」の経済的支援するとともに、生活不安の軽減に寄与した。
6	鹿嶋市ひとり親世帯臨時特別給付金	こども相談課	①新型コロナウイルス感染拡大で影響を受けた家庭の支援 ②児童扶養手当受給者に、児童1人当たり1万円を支給。 ③給付金1万円×675人=6,750千円、通信運搬費 33千円、合計6,783千円 ④令和2年5月分の児童扶養手当受給者	6,783,000	6,783,434	6,783,434		6,783,434				子育て世帯の中でも、特に生計の中心者の就労環境でも影響を受けやすいひとり親世帯(児童扶養手当の受給者)に、子ども1人当たり1万円を支給。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた「子育て世帯」の経済的支援するとともに、生活不安の軽減に寄与した。
7	地域の感染状況等を踏まえたきめ細かい医療提供体制等構築事業	保健センター	①新型コロナウイルス感染症の影響により、マスク等の医療資材が不足する医療機関及び歯科医療機関へ必要な資材を提供することにより、医療体制を維持し、市民の安心安全を確保する。 ②③サージカルマスク @25円×30,000枚×1.1=825,000円 フェイスシールド @900円×95枚×1.1=94,050円 フェイスシールド @480円×500枚×1.1=264,000円 プラスチックエプロン袖付(20枚入) @4,180円×10箱×1.1=45,980円 アルコール消毒綿 @600円×500個×1.1=330,000円 合計 1,559千円 ④市内医療機関(32か所)及び歯科医療機関(25か所)	1,559,000	1,559,030	1,559,030		1,559,030				感染症予防に必要な資材を提供し、停止することができない医療における安心した受診体制の確保および2次感染の予防を図ることができた。
8	防災活動支援事業	保健センター	①避難所の衛生環境を保つため、マスク及び消毒剤等の資材を避難所に備蓄する。 ②③ サージカルマスク @25円×30,000枚×1.1=825,000円 サージカルマスク(小) @19.6円×10,000枚×1.1=215,600円 手指消毒剤(1L) @1,700円×60本×1.1=112,200円 手指消毒剤(500ml) @1,150円×60本×1.1=75,900円 消毒用エタノール @805円×100本×1.1=88,550円 消毒用ウェットシート @1,200円×100個×1.1=132,000円 体温計 @2,870円×30本×1.1=94,710円 ディスポーザブル手袋 @2,000円×90箱×1.1=198,000円 防護服 @5,000円×20着=100,000円 合計1,658,700千円 ④市内公民館等避難所(13か所)	2,109,000	1,659,570	1,659,570		1,479,841		179,729		災害等に備え、感染を危惧した避難控えや避難者の二次感染を予防するために必要な感染症予防対策を講じるための資材を確保することができた。

No.	交付対象事業の名称	所管課	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	実施計画上の 総事業費	決算額						効果の検証・評価	
					A 総事業費	B 補助対象 事業費	C 国庫補助額	D 臨時交付金 充当額	E 起債額	F その他		G 補助対象 外経費
9	必要物品供給事業	保健センター	①妊婦，障がい者，社会福祉施設等に対し，感染予防のためにマスクを配布する。 ②③サージカルマスク @25円×30,000枚×1.1＝825,000円 ④妊婦(500人)，障がい者(1,000人)，社会福祉施設(95か所)	825,000	825,000	825,000		825,000				マスク不足時に感染予防に欠かせないマスクを配布することで，精神的な負担の軽減および予防の必要性の周知・感染拡大予防につながった。
10	新型コロナウイルス感染症対策自治金融利子及び保証料補給補助	商工観光課	①－ ②－ ③20件分 信用保証料補給補助2,413千円，利子補給補助700千円 ④鹿嶋市中小企業事業資金融資あっせん条例に基づく自治金融制度上の運転資金の審査を承認された者のうち，新型コロナウイルス感染症の影響を受け，最近1か月の売上高が前年又は前々年の同期と比較して5%以上減少した者	3,113,000	2,692,364	2,692,364		2,692,364				コロナ禍による売上減少などで資金繰りに苦労している中小企業や小規模事業者に対して，融資の信用保証料補給や利子補給を実施することで事業活動の継続に寄与した。
11	市内事業者支援給付事業	商工観光課	①国の持続化給付金が対象外となり，要件を満たす事業者に対して，事業全般に広く使える資金として一律10万円を支給する。 ②事業者への支給に係る給付金及びその経費 ③76件×10万円 ④国の持続化給付金が対象外であり，単月の売上が前年同月より30%以上減少した市内に事業所等を有する中小企業及び個人事業主	7,600,000	7,500,000	7,500,000		7,500,000				コロナ禍で前年等と比べ売上が減少したものの国の支援を受けられなかった事業者に対し，給付金を支給することで，中小企業，小規模事業者の事業活動継続に寄与した。
12	新型コロナウイルス感染症対策協力金	商工観光課	①特に大きな影響を受けた業種で感染症対策に協力いただけた中小企業や個人事業主に対し，協力金を支給する。 ②事業者へ支給する交付金 ③263件×10万円 ④市内に事業所等を有し，コロナウイルス感染症により，特に大きな影響を受けた業種(飲食業，宿泊業，タクシー，運転代行，観光バス，旅行業)の中小企業及び個人事業主に対し，3密防止対策やデリバリー支援等に役立てていただくための協力金として一律10万円を支給する。	26,300,000	26,300,000	26,300,000		26,300,000				コロナ禍で，特に大きな影響を受けた業種の事業者に対して，直接交付金を支給することで，事業の継続や感染防止対策の向上に寄与した。
13	学校保健特別対策事業費補助金	総務就学課	(感染症対策のためのマスク等購入支援事業) ①学校再開時の感染症拡大防止策として各学校にマスク・消毒液等を配布 ②③児童生徒用保健衛生用品 小3,447名，中1,478名 ・アルコール消毒液 1,367,444円 ・使い捨てマスク 80,575円 ・健診等消耗品 241,817円 合計 1,689,836円 ④市立小中学校(17校)	1,674,000	1,674,000	1,674,000	837,000	837,000				学校再開時の感染症拡大防止策として各小中学校にアルコール消毒液やマスク等を購入し，児童生徒が安心安全に学校生活を送れる環境を整備した。

No.	交付対象事業の名称	所管課	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	実施計画上の 総事業費	決算額						効果の検証・評価	
					A 総事業費	B 補助対象 事業費	C 国庫補助額	D 臨時交付金 充当額	E 起債額	F その他		G 補助対象 外経費
14	学校臨時休業 対策事業	総務就学課	①子育て世代支援事業（学校再開時の給食費の保護者負担の軽減） ②③6～8月分の小中学校の給食費減免に係る費用。賄材料費に充当。 ・6月分（8日～30日） 19,459,465円 ・7月分（1日～31日） 24,166,159円 ・8月分（20日～31日） 8,923,105円 合計52,548千円 ※減免期間中の賄材料費全体額を減免対象者の人数で按分して算出。 ④一般会計	52,548,000	52,548,729	52,548,729		52,548,729				- 子育て世代の支援として、6月からの学校再開時において、学校給食費を免除することにより、保護者の経済的負担を軽減することができた。
15	学校臨時休業 対策事業	総務就学課	①臨時休業に伴う準要保護児童生徒の就学援助として、昼食費の支援（給食費相当分） ②就学援助費 ③ 1人あたり 上限10,000円 準要保護児童生徒：小学校：160人、中学校：101人 小学校：1,549,140円、中学校：973,700円 合計 2,522,840円 うち補正予算対応分 2,320千円 ④準要保護児童生徒の保護者	2,320,000	2,320,000	2,320,000		2,320,000				- 本来就学援助の準要保護の場合は給食費が免除となるが、臨時休業により、家庭での昼食を用意することとなった。就学援助費として昼食代を支給することにより、保護者の経済的負担を軽減することができた。
16	学校臨時休業 対策事業	学校給食センター	①4月以降の臨時休業（休校）期間に係る給食費を減額し、保護者の負担を軽減する。 ②③臨時休業（休校）期間中の給食食材で、市がキャンセルせずに事業者から購入した食材の経費（4月分 2,603,195円＋5月分 157,788円＝2,760,983円） ④-	2,760,000	2,760,983	2,760,983		2,760,983				- ①4月以降の臨時休業（休校）期間に係る給食費を減額することで、保護者の経済負担軽減に寄与した。②臨時休業（休校）期間中の給食食材のキャンセルをせずに事業者から購入したことで業者への負担を減らすことができ、安定した給食提供につながったことから効果的な事業であった。。
17	必需物品供給 事業	幼児教育課	①マスク、給食用手袋、アルコール消毒液などの必需品を市内保育園、幼稚園に届けるもの。 ②市内保育所等にマスク、消毒液等を配布する経費に充当 ③（保育施設30か所＋幼稚園4か所）×マスクや感染予防につながる消耗品（上限10万円）必要額2,650千円 ④市内保育所、認定こども園、小規模（家庭的）保育事業所、認可外保育施設、幼稚園	2,650,000	2,650,626	2,650,626		2,650,626				- 施設での感染を防ぐため、保育所等へマスクやアルコール消毒液、体温計などを支給することで、子どもを安全に預かる環境を整備することに寄与した。
18	図書館パワー アップ事業	中央図書館	①目的：新型コロナウイルスの感染拡大を防止するための措置がとられている状況の中での図書館サービスの充実を図る。 効果：新書が増えることにより、利用者の選択肢が広がるため、充実したサービスができる。 ②備品購入費（図書） ③図書費（一般図書1,000冊×1,500円＝1,500,000円、児童書500冊×1,000円＝500,000円 合計2,000,000円） ④-	2,000,000	2,000,000	2,000,000		2,000,000				- 新型コロナウイルス感染症拡大により外出する機会が減ってしまった市民の方々に対し、貸出可能な図書を多く購入することで、家庭で読書を楽しむ機会を提供することができた。

No.	交付対象事業の名称	所管課	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	実施計画上の 総事業費	決算額						効果の検証・評価		
					A 総事業費	B 補助対象 事業費	C 国庫補助額	D 臨時交付金 充当額	E 起債額	F その他		G 補助対象 外経費	
19	図書館パワーアップ事業	中央図書館	①図書滅菌消毒器の購入。目的:新型コロナウイルスの感染拡大を防止するための措置がとられている状況の中での図書館サービスの充実を図る。効果:返却された図書を滅菌・消毒することにより、安心して図書が借りることができる。 ②③書籍消毒器2台(中央館1台・分館1台)2台×1,111千円=2,222千円 ④-	2,222,000	2,222,000	2,222,000		2,222,000				-	図書に付着したほこりや汚れ、ウイルス等を除去滅菌することができる図書滅菌消毒機を設置し、図書館の利用者に使用していただくことで、新型コロナウイルス感染の不安を軽減することにつながった。
20	図書館パワーアップ事業	中央図書館	①目的:新型コロナウイルスの感染拡大を防止するための措置が取られている状況の中での図書館サービスの充実を図る。効果:新書が増えることにより、利用者の選択肢が広がるため、充実したサービスができる。 ②③電子書籍180冊購入 合計2,000,082円 ④-	2,000,000	2,000,082	2,000,082		2,000,082				-	電子書籍を数多く購入することで、新型コロナウイルス感染拡大により図書館に来館するのが難しくなってしまった方々に対し、来館することなく読書をする機会を提供することができた。
21	RPA導入事業	政策秘書課	①目的:「地域未来構想20」で掲げる社会的環境整備として、行政事務のデジタル化を推進するものである。効果:業務プロセスの改善により生産性の向上、省力化を期待するもの。現行、職員が行っている業務の一部を自動化することにより、業務量が削減され職員間の密を避けることが可能になり、感染リスクの低減につながる。 ②市業務へのRPA導入及び人材育成委託料 ③・PRA導入コンサルティング 500,000円×1.1 ・PRA活用人材育成 200,000円×5人×1.1 ・ロボット開発(目標数3) 600,000円×1.1 合計 2,310,000円 ④鹿嶋市	2,310,000	2,310,000	2,310,000		2,310,000				-	RPA活用人材を育成(自前でRPAを運用管理できる人材を内部職員で育成)した。また、市業務システムをRPAを導入したところ、合計1,575時間の削減(年間推計値)に成功した。業務量が削減されることにより、職員の生産性の向上が図られ、ウィズ/アフターコロナの業務体制構築に寄与した。 実績:RPA活用人材育成5人、RPA導入件数3件、削減された業務時間:1,575時間の削減(年間推計値)
22	学生応援便事業	政策秘書課	①帰省やアルバイト等を自粛した県外に在住する市出身の学生に対し、特産品等を給付することで学生を応援するとともに市の魅力の再発見につなげる。 ②応援物資の調達、配送及び事務に係る委託料 ③・応援物資費用 1,991千円 ・応援物資配送費用 506千円 ・事務手数料等 154千円 ・導入初期費用(システム構築、カタログページ作成等) 231千円 計 2,882千円 ④市出身で県外に在住する学生	3,012,000	2,882,161	2,882,161		2,882,161				-	帰省やアルバイト等を自粛した県外に在住する鹿嶋市出身の学生に対し、かしまし豚やしおさい米など市の特産品を給付することにより、コロナ禍で深刻な影響を受けた学生生活を支援するとともに、市の魅力再発見につなげることができ、就職時の出身地鹿嶋へのUターンを訴求することができた。 実績:県外在住の鹿嶋市出身大学生等で応募があった34都道府県464名に対して、生活支援のための地元特産品を送付。
23	必需物品供給事業	総務課	①市役所庁舎内で感染症拡大防止を図る。 ②③ ・窓口カウンタービニールシート及び段ボールパーテーション購入費用 106,900円 ・非接触赤外線感知温度計購入費用 @7,000円×3台×1.1=23,100円 ④鹿嶋市役所	130,000	130,000	130,000		130,000				-	窓口カウンター用のビニールシート、段ボールパーテーション、非接触型体温計を購入し、庁舎内での感染症対策を強化したことにより、庁舎内を感染源とする感染者を出さずに市役所業務を継続することができた。

No.	交付対象事業の名称	所管課	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	実施計画上の 総事業費	決算額						効果の検証・評価	
					A 総事業費	B 補助対象 事業費	C 国庫補助額	D 臨時交付金 充当額	E 起債額	F その他		G 補助対象 外経費
24	必需物品供給事業	総務課	①市役所庁舎出入口で感染症拡大防止を図る。 ②③ ・サーモグラフィカメラ購入費（@920,000×2台×1.1＝2,024,000円） ・手指消毒液（4.5ℓ詰替用）購入費（@2,850円×50本×1.1＝156,750円） ・便座消毒器購入費（@3,500円×17個×1.1＝65,450円） ・手指消毒用非接触型ディスペンサー（@18,000円×4個×1.1＝79,200円）計2,325,400円 ④鹿嶋市役所	2,326,000	2,326,000	2,326,000		2,326,000				サーマグラフィカメラ、非接触型消毒ディスペンサー等を購入し、正面玄関2箇所に設置するなど、庁舎内での感染症対策を強化したことにより、庁舎内を感染源とする感染者を出さずに市役所業務を継続することができた。
25	情報政策推進費	総務課	①保健センター内でのサテライト勤務及び庁舎内web会議対応により感染予防を図る。 ②保健センター無線LAN設置に係る経費及びweb会議用ディスプレイ等購入費 ③保健センターLAN設置・情報コンセント作業費 1,440,000円×1.1＝1,584,000円 保健センター無線LAN機器購入費 PoE対応フロアスイッチ 202,400円×2×1.1＝445,280円 無線アクセスポイント 45,320円×10×1.1＝498,520円 無線LAN管理ソフトライセンス(10台分) 22,000円×1.1＝24,200円 インターネット用WiFi導入作業費 2,777,700円×1.1＝3,055,470円 インターネット初期工事費 18,800円×1.1＝20,680円 インターネット回線費用 4,700円×2か月×1.1＝10,340円 プロバイダ(USEN) 1,500円×2か月×1.1＝3,300円 web会議用機器購入費 マイク付きカメラ 5,000円×2台×1.1＝11,000円 カメラ設置用三脚 1,500円×2台×1.1＝3,300円 ヘッドセット 1,600円×1.1＝1,760円 会議用ワイドレンズカメラ 9,000円×1.1＝9,900円 スピーカーフォン 59,000円×1.1＝64,900円 55インチディスプレイ 109,000円×1.1＝119,900円 ディスプレイスタンド 69,000円×1.1＝75,900円 合計 5,928,450円 ④鹿嶋市保健センター及び鹿嶋市役所(本庁)	5,928,000	5,924,387	5,924,387			5,924,387			新型コロナウイルス感染症対策の中心的なセクションである保健センターに無線LANを導入し、サテライトオフィスや打合せ等に活用したことで業務継続性の向上が図れた。また、ディスプレイセットをはじめとしたweb会議用の機器を購入し活用したことで、対面で会議を行う機会が減少し、コロナウイルス感染のリスクを低減することができた。
26	確定申告・住民税申告相談受付事業	税務課	①税務署と連携し、確定申告及び住民税申告の受付を行うことで、円滑な税制運営を行う。 ②申告受付会場における感染防止のための備品・消耗品等の購入費 ③60cm×80cmアクリル板パーテーション@6,600円×15個＝99千円 65.5cm×161.7cmアクリル板パーテーション@19,800円×15台＝297千円 マスク1,000枚(来場者用)6,500円 カウンタークロス100枚@1,300円×50箱＝65千円 ④申告会場来場者(申告期間中延べ約6,000人)	468,000	467,500	467,500			467,500			確定申告及び住民税申告会場における感染防止のため、アクリル板パーテーションや消毒用カウンタークロス等を購入し対策を行った結果、感染者を出さずに実施することができた。

No.	交付対象事業の名称	所管課	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	実施計画上の 総事業費	決算額						効果の検証・評価	
					A 総事業費	B 補助対象 事業費	C 国庫補助額	D 臨時交付金 充当額	E 起債額	F その他		G 補助対象 外経費
27	防災活動支援 事業	交通防災課	①避難所設置の際の必要物品を購入し、衛生環境を保つ。 ②段ボールベッド、パーテーション、消毒液、冷風扇などの物品購入費 ③段ボールベッド 7,000円×100個 " 7,500円×50個 段ボールパーテーション 3,590円×140個 簡易トイレセット 23,700円×50個 折り畳み避難ベッド 9,000円×100台 アルコール消毒液 1,980円×96本 フェイスシールド 900円×100個 " 480円×200個 不織布製ガウン 800円×1,100枚 冷風扇 200,000円×2台 非接触体温計 5,000円×20個 その他消耗品（ゴム手袋他）一式 441,320円 計 5,860千円×1.1=6,446千円 ④-	6,446,000	6,445,094	6,445,094		6,445,074		20	-	避難所における感染症対策として飛沫感染防止とともに避難された方々のプライバシーの確保となるパーテーションを整備したほか、避難された方々の健康管理対策として簡易ベッドの購入や夏季避難所における熱中症対策のための冷風扇の購入、避難所の受付時の感染症対策物品などを整備することで、避難所の生活環境の改善を行うことができた。また、避難所を運営する職員等の感染予防対策のためのフェイスシールドやガウン等も併せて購入したことで、感染症対策を講じた避難所運営体制を図ることができた。 (件数等) ・パーテーション140個 ・簡易ベッド250個 ・アルミマット113本 ・冷風扇2台 ・災害用テントトイレ50個 ・フェイスシールド300個 ・ガウン1,100着 ・レインズホン450着 ・ゴム手袋20箱 ・体温計20本 ・手指消毒液96本 ・避難所受付用感染対策消耗品
28	防災関係経費	交通防災課	①市の感染症対策に対して医学的見地からアドバイスを受けるため、市新型コロナウイルス感染症対策本部会議構成員に医師会代表者を置く。 ②会議出席者（医師会代表者）への謝礼金 ③12,000円×6回×2名 12,000円×2回×1名 12,000円×5回×2人 ④鹿島医師会長及び鹿島医師会感染症担当理事	288,000	180,000	180,000		180,000			-	本市における新型コロナウイルス感染症対策本部における新型コロナウイルス感染予防、まん延防止対策を協議する際に、専門的な知識を持った委員を招聘することで、的確な施策を実施することができた。 (件数等) ・鹿嶋市新型コロナウイルス感染症対策本部会議 鹿島医師会会長9回 鹿島医師会感染症対策理事6回
29	医療機関における新型コロナウイルス感染症患者の受入れ促進事業	保健センター	①感染患者等の入院を受け入れる医療機関を支援し、医療提供体制を維持する。 ②新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金等の他の支援施策の対象とならない又は超える経費等。 ③1) 二次救急病院運営費補助金 10,000千円×1か所=10,000千円 2) 患者等受入医療機関開設整備補助金 15,000千円×2か所=30,000千円 3) 感染症疑い患者入院受入輪番制病院補助金 160千円×5件×5か月=4,000千円 合計44,000千円 ④感染症患者等の入院を受け入れる医療機関	44,000,000	40,640,000	40,640,000		40,640,000			-	コロナ禍において、感染者および感染疑い者の自宅療養困難時、また急変時に受入れ体制を維持する医療機関が身近にあることで、早期対応が可能となり住民の安心にもつながった。
30	公共的空間安全・安心確保 事業	保健センター	①1歳6か月児及び3歳児健診の実施回数を増やし（12回→25回）、3密を避けて実施するとともに、感染予防のため歯鏡をディスプレイに変更する。 ②③ 1歳6か月児健診（医師）@20,000円×26回=520,000円 1歳6か月児健診（歯科医師）@20,000円×26回=520,000円 3歳2か月児健診（医師）@20,000円×25回=500,000円 3歳2か月児健診（歯科医師）@20,000円×25回=500,000円 計2,040千円—当初予算額920千円=1,120千円 ディスプレイ歯鏡 @81円×1,000本×1.1=89,100円 合計 1,209,100円 ④保健センターで行う1歳6か月児及び3歳2か月児健診	1,209,000	1,209,000	1,209,000		1,169,100		39,900	-	健診回数を増やし実施したことで、密を回避しながら必要な時期に検診を実施することができ、個々の不安解消にもつながった。

No.	交付対象事業の名称	所管課	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	実施計画上の 総事業費	決算額						効果の検証・評価	
					A 総事業費	B 補助対象 事業費	C 国庫補助額	D 臨時交付金 充当額	E 起債額	F その他		G 補助対象 外経費
31	子ども・子育て支援交付金	こども相談課 社会教育課	①新型コロナウイルス感染拡大による学校の臨時休業に伴い影響を受けた保護者の負担軽減 ②学校の臨時休業に伴うファミリー・サポート・センターの利用に係る利用者支援事業（保護者の負担軽減のための利用料の減免事業）及び放課後児童クラブの運営時間延長に係る委託料 ③・ファミリーサポートセンター分 @700円×35時間＝24千円（3人） ・児童クラブ分 波野小学校児童クラブ 1,205,000円 豊郷小学校児童クラブ 2,691,000円 豊津小学校児童クラブ 133,000円 鹿島小学校児童クラブ 1,678,000円 高松小学校児童クラブ 598,000円 平井小学校児童クラブ 868,000円 三笠小学校児童クラブ 1,452,000円 鉢形小学校児童クラブ 893,000円 大同東小学校児童クラブ 724,000円 大同西小学校児童クラブ 613,000円 中野東小学校児童クラブ 783,000円 中野西小学校児童クラブ 245,000円 合計11,883千円 ※その他の財源：県子ども・子育て支援交付金 ※右の総事業費等は国庫補助の交付決定額に合わせて記載 ④鹿嶋市社会福祉協議会（鹿嶋市ファミリー・サポート・センター事業の受託者）及び放課後児童クラブ委託事業者	14,538,000	10,655,500	10,655,500	3,551,000	3,553,500		3,551,000		新型コロナウイルスの感染拡大による学校の臨時休業に伴い、「ファミリーサポートセンター事業」や「児童クラブ」を利用した場合の利用料を減免することで、子育て世帯の負担を軽減し、子育て支援の推進を図った。
32	介護予防教室における感染予防対策	介護長寿課	①感染・発症すると重症化しやすい高齢者に対し、対策を講じることで、新型コロナウイルス感染症への感染予防に役立つ。 ②介護予防教室における感染予防消耗品費 ③マスク（50枚入り）、アルコール消毒液等衛生用品 合計81,668円 ④市内65歳以上の高齢者	83,000	81,668	81,668		81,668				高齢者を対象として開催した教室での集団感染のリスクを避けるため、マスクやアルコール消毒液等の衛生消耗品を購入。高齢者や指導者が安心して参加できる体制を整備することができた。
33	長寿祝い膳応援事業	介護長寿課	①コロナ禍で影響を受けている高齢者（75歳以上）に、デリバリーにも対応した食事券を配布し、市内の飲食店で使用していただくことで、高齢者の元気と事業者の経営を応援する。 ②飲食店への負担金、食事券等印刷費及び送料 ③・負担金（1人あたり2,000円×8582人） 17,164千円 ・印刷製本費、通信運搬費他 1,970千円 計 19,134千円 ④市内75歳以上の高齢者及び市内飲食店	19,154,000	19,134,436	19,134,436		19,134,436				コロナ禍により外出減少等、影響を受けている高齢者に対し、持ち帰りや配達にも使用できる食事券（祝い膳利用券）を利用していただき、食を通じて元気を取り戻してもらった。この食事券は、市内の登録飲食店で使用できるもので事業者の経営を応援することにもつながった。
34	鹿嶋市貸切バス事業者支援給付金	商工観光課	①顧客減少に伴い、事業の活動に大きな影響を受けた市内の貸切バス事業者に対する支援。 ②③市内の事業所で所有する事業用貸切バス数（30台）×100千円 ※歳入 茨城県地域企業活力向上応援事業費補助金 1,500千円 ④市内に本社を有し、且つ市内事業所で貸切バスを保有する事業者。	3,000,000	3,000,000	3,000,000		1,500,000		1,500,000		コロナ禍で、団体旅行や団体観光がほぼキャンセルとなり、事業活動の継続が危ぶまれている市内貸切バス事業者に対して、支援給付金を交付することで、事業の継続に寄与した。

No.	交付対象事業の名称	所管課	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	実施計画上の 総事業費	決算額						効果の検証・評価	
					A 総事業費	B 補助対象 事業費	C 国庫補助額	D 臨時交付金 充当額	E 起債額	F その他		G 補助対象 外経費
35	鹿嶋市団体宿泊助成金	商工観光課	①市内宿泊事業者を支援することを目的に、宿泊する10人以上の団体旅行者に助成金を支給する。 ②宿泊費及び貸切バス費の一部 ③【宿泊費】単価3千円×宿泊数×人数⇒200千円(上限) 200千円×90団体=18,000千円 【貸切バス】単価50千円×日数⇒100千円(上限) 100千円×90団体=9,000千円 ④市内への宿泊を伴う団体(10人以上)旅行者	27,000,000	26,202,000	26,202,000		25,170,883		1,031,117	- 新型コロナウイルス感染症の影響が非常に大きかったため、宿泊者の増加につながり事業者にとって非常に効果的であった。	
36	鹿嶋市プレミアム付商品券発行事業	商工観光課	①新型コロナウイルス感染症により影響を受けた市内商業者を支援するとともに、地域経済を下支えする。 ②1冊当たり券面額15,000円の商品券を10,000円で販売し、20,000冊を発行する。 ③購入引換券ハガキ作成 674千円 郵送費 20,000件×63円=691千円 商品券販売経費 1,220千円 商品券発行事業補助金(商品券印刷、使用済商品券換金、事務経費等) 315,763千円 ※歳入 販売料金 20,000冊×10,000円=200,000千円 茨城県地域企業活力向上応援事業費補助金 56,195千円 ④市内商業者及び市民	318,348,000	315,616,792	315,616,792		59,421,792		256,195,000	- 市内で約3億円分の商品券が使用され、飲食や小売りを始めとする市内事業者の支援に繋がったほか、市民の生活支援にも寄与した。	
37	公共的空間安全・安心確保事業	教育施設課	①小中学校の蛇口をレバー式に交換し、手のひらで接触することを抑制することにより、感染予防につながる。 ②蛇口のレバー化 ③小学校 907か所×3,300円⇒2,992千円、中学校 282か所×3,300円⇒930千円 ④市内公立小中学校 全17校	3,922,000	3,922,600	3,922,600		3,922,600			- 小中学校施設の蛇口(小学校907箇所、中学校282箇所)をレバー式にすることで、手の甲の一部での接触となることから接触面積を減らすことができ、学校内での感染防止に寄与した。併せて手の洗い方を学ぶことで効果的な感染予防ができた。	

No.	交付対象事業の名称	所管課	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	実施計画上の 総事業費	決算額						効果の検証・評価	
					A 総事業費	B 補助対象 事業費	C 国庫補助額	D 臨時交付金 充当額	E 起債額	F その他		G 補助対象 外経費
38	社会教育施設における新型コロナウイルス感染症の拡大防止事業	社会教育課	①施設内における感染症予防のために資材を購入し、感染及び感染拡大への予防を徹底する。 ②マスク、消毒液、体温計等の購入に係る経費を交付対象経費とする。 ③「ミニ博物館コシカ」計88千円 ・非接触型体温計 @6,000円×1本×1.1=6,600円 ・手指消毒液剤5L @2,800円×10本×1.1=30,800円 ・マスク(50枚入) @1,280×20箱×1.1=28,160円 ・ディスペンサー @1,200円×2個×1.1=2,640円 ・オートディスペンサー @18,000円×1台×1.1=19,800円 「どきどきセンター(埋蔵文化財保管施設)」計88千円 ・非接触型体温計 @6,000円×1本×1.1=6,600円 ・手指消毒液剤5L @2,800円×10本×1.1=30,800円 ・マスク(50枚入) @1,280×20箱×1.1=28,160円 ・ディスペンサー @1,200円×2個×1.1=2,640円 ・オートディスペンサー @18,000円×1台×1.1=19,800円 「平井コミュニティセンター」計88千円 ・非接触型体温計 @6,000円×1本×1.1=6,600円 ・手指消毒液剤5L @2,800円×10本×1.1=30,800円 ・マスク(50枚入) @1,280×20箱×1.1=28,160円 ・ディスペンサー @1,200円×2個×1.1=2,640円 ・オートディスペンサー @18,000円×1台×1.1=19,800円 「鹿嶋勤労文化会館」計1,185千円 ・非接触型体温計 @6,600円×2本×1.1=13,200円 ・手指消毒液剤5L @2,800円×3本×1.1=9,240円 ・手指消毒液剤15L @6,500円×4缶×1.1=28,600円 ・マスク(50枚入) @1,280円×60箱×1.1=84,480円 ・ディスペンサー @1,200円×4個×1.1=5,280円 ・オートディスペンサー @18,000円×5台×1.1=99,000円 ・サーモグラフィカメラシステム @860,000円×1.1=946,000円 合計 1,449千円 ④上記施設及び利用者	1,449,000	1,449,800	1,449,800		1,449,800				手指消毒液材や非接触型体温計、マスク等の衛生消耗品を購入したほか、不特定多数の人が出入りする鹿嶋勤労文化会館ではサーモグラフィカメラシステムを導入したことで、コロナ禍での社会教育施設開館にあたり感染症対策を講じることができた。
39	社会教育施設における新型コロナウイルス感染症の拡大防止事業	社会教育課	①放課後児童クラブの施設内における感染症予防のために資材を購入し、感染及び感染拡大への予防を徹底する。 ②マスク、消毒液、体温計等の購入に係る経費を交付対象経費とする。 ③・非接触型体温計 @7,280円×10本×1.1=80,080円 ・マスク @1,280×140箱×1.1=197,120円 ・ハンドミスト @19,745×10本=197,450円 ・ハンドスキッシュ @2,850×21本×1.1=65,835円 ・除菌用アルコール(15L) @6,500×37缶×1.1=264,550円 ・除菌用アルコール(5L) @8,400×4箱×1.1=36,960円 ・空気清浄機 @33,200×47台×1.1=1,716,440円 合計 2,558,435円 ④放課後児童クラブ利用児童及び支援員	2,558,000	2,558,435	2,558,435		2,558,435			手指消毒液材や非接触型体温計、マスク等の衛生消耗品を購入したほか、児童クラブ各教室に空気清浄機を導入したことで、コロナ禍での児童クラブ開所にあたり感染症対策を講じることができた。	

No.	交付対象事業の名称	所管課	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	実施計画上の 総事業費	決算額						効果の検証・評価	
					A 総事業費	B 補助対象 事業費	C 国庫補助額	D 臨時交付金 充当額	E 起債額	F その他		G 補助対象 外経費
40	体育施設管理費事業	スポーツ推進課	①新型コロナウイルス感染拡大予防のために、屋内外での各種スポーツ大会において使用する備品等を購入し、利用者に安全安心に利用してもらう。 ②屋内外での感染拡大防止、3密回避のための備品購入 ③アラーム付非接触型検温時計 @41,580円×6台 空気清浄機 @49,800円×6台 検温アラームシステム @720,000円×1台 クイックテント @120,200円×6台 屋内温水プール用ヒーター @272,000円×2台 計 2,533,480円×1.1=2,786,828円 ④カシマスポーツセンター、ト伝の郷運動公園多目的球技場 高松緑地公園、北海浜多目的球技場、新浜緑地多目的球技場、緑地温水プール、いきいきゆめプール、市民センター体育館	2,786,000	2,786,828	2,786,828		2,786,828				社会体育施設の再開に向けた感染拡大予防ガイドラインに基づき、各スポーツ施設における利用者の体調確認や3密対策に活用した。 ・8月以降のスポーツイベント（サッカーフェスティバル等）に際し、感染防止対策消耗品等を購入。大会開催が危ぶまれたが、参加者及び主催者が感染防止対策を徹底することで、安心安全な大会運営に寄与した。 サッカーフェスティバル参加チーム数 令和元年度：104チーム 令和2年度：38チーム
41	公共的空間安全・安心確保事業	中央公民館	①公民館利用者のソーシャルディスタンスを確保するための整備を行うことで、感染拡大防止対策を図る。 ②3密対策（屋外中庭等を活用した3密対策）消耗品費 ③・屋外用椅子×12脚=228,360円 ・コンクリートベース×4台=36,960円 ・サロン用椅子×30脚=561,000円 ・スタッキングプロベンチ×8台=173,680円 ・サーモグラフィカメラシステム×2台=1,892,000円 ・スクエアテーブル×4台=173,800円 ・マーケットパラソル×4本=134,200円 計3,200,000円 ④鹿嶋市まちづくり市民センター（鹿嶋市立中央公民館） 鹿嶋市大野まちづくりセンター（鹿嶋市立大野公民館）	3,200,000	3,200,000	3,200,000		3,200,000			屋外（施設の中庭等）を活用し、屋外用のテーブルや椅子を設置することで、まちづくり市民センター施設利用者のソーシャルディスタンスを確保する整備を行った。 サーモグラフィカメラシステムをまちづくり市民センターと大野まちづくりセンターに設置し、来館者の体温確認することで感染拡大防止対策を図った。	
42	必需物品供給事業	中央公民館	①公民館の衛生環境を整えることで、感染拡大防止を図る。 ②感染拡大防止対策消耗品費、備品購入費 ③・手指消毒液×45箱=520,850円 ・手指消毒液×40缶=286,000円 ・塩素系消毒液×66本=99,220円 ・非接触型体温計×2本×11館=193,600円 ・サージカルマスク×5,000枚=140,800円 ・ゴムうす手袋×4箱×11館=16,940円 ・便座消毒器×32個=151,360円 ・飛散防止パーテーション（20個）×11館=994,334円 ・便座除菌クリーナー×39個=299,442円 ・アルコールディスペンサー×12個=237,600円 ・感染防止フロアスタント×9個=138,600円 ・OA機器用除菌シート×2個=2,706円 ・OA機器用除菌シート詰替用×5個=4,548円 合計 3,086,000円 ④市内公民館11館	3,086,000	3,086,000	3,086,000		3,086,000			アルコール消毒液やマスク、非接触型体温計、飛沫防止パーテーション等を購入し安心して公民館施設を利用していただける体制を整備した。公民館の衛生環境を整えることで、感染拡大防止を図った。	
43	図書館管理費経費	中央図書館	①施設内の感染症拡大防止策として消毒液等を購入 ②図書館管理経費消耗品費 ③手指消毒剤（1L）@1,980円×113本=223,740円（税込） ④-	223,000	223,740	223,740		223,740			図書館内の各所に消毒液を設置し、図書館利用者に使用していただくことで新型コロナウイルス感染防止の対策を講じることができた。	
44	図書館管理費経費	中央図書館	①施設内の感染症拡大防止策として体温検知サイネージの設置 ②図書館管理経費備品購入費 ③体温検知サイネージ121,900円×2台×1.1=268,180円 ④-	268,000	268,180	268,180		268,180			入館者の体温を測定することができる体温検知サイネージを設置することで、新型コロナウイルス感染の疑いのある方の入場を制限するなど、図書館内での感染防止の対策を講じることができた。	

No.	交付対象事業の名称	所管課	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	実施計画上の 総事業費	決算額						効果の検証・評価	
					A 総事業費	B 補助対象 事業費	C 国庫補助額	D 臨時交付金 充当額	E 起債額	F その他		G 補助対象 外経費
45	学校保健特別 対策事業費補 助金	総務就学課	(学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業) ①学校再開後の感染症拡大防止策として各学校ごとに 消耗品や備品を購入 ②③ ・スポットエアコン(夏の給食配膳室の熱中症対策)小中 中学校各2台 小:107,700円×12校×2台×1.1=2,843,280円 中:108,000円×5校×2台×1.1=1,188,000円 ・サーモカメラ(児童生徒、教職員等の検温)小中学校各 1台(三笠2台) 227,000円×18台×1.1=4,494,600円 ・給食配膳台 90,000円×2台=180,000円 ・大型扇風機 51,700円×1台=51,700円 合計 8,757,580円 ④市内小中学校 17校	8,758,000	8,757,580	8,757,580	4,378,790	4,378,790				夏季休業期間の短縮に伴う学校給食の実施のため熱中症対策として、給食配膳室へのスポットエアコンの購入により職員の体調管理をするとともに、児童生徒や来校者の検温のためのサーモカメラを購入し、安心安全に学校生活を送れる環境を整備した。
46	学校保健特別 対策事業費補 助金	総務就学課	(学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業) ①学校再開後の感染症拡大防止策として各学校ごとに 消耗品や備品を購入 ②③ ・アルコール消毒液 415,466円 ・エアコンフィルター(2か月に1回フィルター交換) 小学校 2,669,920円, 中学校:1,152,800円 ・給食当番用ビニール手袋 1,386,920円 ・児童生徒用マスク 377,267円 ・非接触体温計 554,290円 ・ペーパータオル 712,800円 ・学校消耗品 小学校12校:2,799,078円 中学校5校:1,099,486円 ・その他消耗品 1,173,265円 合計12,341,292円 ④市内小中学校 17校	12,242,000	12,242,420	12,242,420	6,121,210	6,121,210				学校再開時の感染症拡大防止策として各小中学校に抗菌エアコンフィルターやアルコール消毒液、マスクペーパータオル等を購入し、児童生徒が安心安全に学校生活を送れる環境を整備した。
47	修学旅行等 キャンセルに 係る費用	総務就学課	①修学旅行キャンセルに伴う宿泊費及び企画料の支払い ②, ③4,742,265円 小 1,149,830円 中 3,592,435円 (内訳)波野小 112,140円, 豊郷小 36,832円, 鹿島小 210,916円, 高松小 72,040円, 平井小 120,660円, 三笠 小 249,212円, 鉢形小 87,890円, 大同東小 86,042円, 大同西小 66,080円, 中野東小 79,042円, 中野西小 28,976円 鹿島中 1,572,340円, 高松中 109,923円, 鹿野中 606,882円, 平井中 405,864円, 大野中 897,426円 ④旅行事業者	4,742,000	4,742,265	4,742,265						中学3年生を対象とした修学旅行が中止になったことにより、宿泊料と企画料が発生した。本来キャンセル料は保護者が負担する経費であるが、市が支援することにより、保護者の経済的負担を軽減することができた。
48	修学旅行等 キャンセルに 係る費用	総務就学課	①スキー学習キャンセルに伴う宿泊費及び企画料の支払い ②③中学1年生 675,375円 (内訳)鹿島中 220,066円, 鹿野中 96,564円, 平井中 215,000円, 大野中 143,745円 ④旅行事業者	675,000	675,375	675,375						中学1年生を対象としたスキー学習が中止になったことにより、宿泊料と企画料が発生した。本来キャンセル料は保護者が負担する経費であるが、市が支援することにより、保護者の経済的負担を軽減することができた。

No.	交付対象事業の名称	所管課	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	実施計画上の 総事業費	決算額						効果の検証・評価	
					A 総事業費	B 補助対象 事業費	C 国庫補助額	D 臨時交付金 充当額	E 起債額	F その他		G 補助対象 外経費
49	遠隔・オンライン学習の環境整備, GIGAスクール構想への支援事業	総務就学課	①児童生徒の学習機会確保のためのGIGAスクール構想事業との連携によるタブレット端末等の整備。1人1台端末の実現によ①児童生徒の学習機会確保のためのGIGAスクール構想事業との連携によるタブレット端末等の整備。1人1台端末の実現により, 学校の臨時休校等の緊急時においても, ICTの活用によりすべての子供たちの学びを保證できる環境を実現する。 ②③ 合計138,573千円 ◆端末等リース分(R3.3分) 32,900円×5,284台/60月=2,898千円 ◆学習ソフト・ドリルソフト 65,655千円 ◆大型電子黒板 279,400円×228台=63,704千円 ◆通信費 回線開通費用 20,680円×17か所=352千円 光回線使用料・プロバイダ料 2~3月分 120千円 ◆消耗品費 chromecast 6,380円×103台=658千円 webカメラスタンド 2,414円×228台=551千円 モバイルバッテリー 2,618円×338個=885千円 端末充電器等 979千円 ◆研修費 275,000円×10回=2,750千円	138,573,000	138,548,500	138,548,500		118,299,301		20,249,199	-	すべての児童生徒へ1人1台端末や学習ソフト等を整備することにより, 学校の臨時休業や新型コロナウイルス感染症に出席停止等に対応が可能となり児童生徒の学習機会の確保のための環境整備を図ることができた。
50	公立学校情報機器整備費補助金	教育指導課	(GIGAスクールサポーター配置支援事業) ①「GIGAスクール構想」による児童生徒1人1台端末の整備に合わせ, 市内公立小中学校にGIGAスクールサポーターを配置し, 学校マニュアルの作成や授業支援を行うことを目的とする。 ②GIGAスクールサポーター派遣に係る委託料 ③GIGAスクールサポーター費用(訪問及び作業) 2,816千円 ※右の総事業費等は国庫補助の交付決定額に合わせて記載 ④市内小中学校17校	4,734,000	2,816,000	2,816,000	1,408,000	1,408,000			-	GIGAスクールサポーターを2名配置し, 市内公立17小中学校への訪問やICT各種整備に関わる業者との打ち合わせなどに参加し, GIGAスクール構想の実現に向けて準備を進めることができた。 ・教職員に向けての説明会の実施, マニュアルの作成 ・児童生徒, 保護者の取り扱いマニュアルの作成
51	地域の感染状況等を踏まえ たきめ細かい 医療提供体制 等構築事業	保健センター	①感染患者等を受け入れる医療機関や小児医療機関を支援し, 医療提供体制を維持する。 ②③1) 診療・検査医療機関等支援金 ・病院 2,000千円×4か所=8,000千円 ・診療所 1,000千円×13か所=13,000千円 ・年末年始加算分 250千円×5か所×2日=2,500千円 2) 小児医療機関体制維持支援金 3,000千円×3か所=9,000千円 合計32,500千円 ④感染症患者等を受け入れる医療機関及び小児医療機関	32,500,000	32,500,000	32,500,000		32,500,000			-	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響が生じている市内医療機関に対し, 患者の受け入れ体制維持の支援を行うことで, 必要な医療を受けられない状況の回避につながった。
52	地域の感染状況等を踏まえ たきめ細かい 医療提供体制 等構築事業	保健センター	①年末年始における診療体制を維持するため, 12月30日から1月3日における休日当番医を1医療機関から2医療機関に拡充する。 ②③休日当番医 45,000円×5日×1.1=247,500円 247,500円-当初予算対応分50,000円=197千円 ④市内医療機関	197,000	197,500	197,500		197,500			-	年末年始の受診体制を強化することで, 発熱等新型コロナウイルス感染症の症状に早期対応が可能となり, 感染拡大予防につながった。

No.	交付対象事業の名称	所管課	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	実施計画上の 総事業費	決算額						効果の検証・評価	
					A 総事業費	B 補助対象 事業費	C 国庫補助額	D 臨時交付金 充当額	E 起債額	F その他		G 補助対象 外経費
53	疾病予防対策 事業費等補助 金	保健センター	(新型コロナウイルス感染症の流行下における一定の高 齢者等への検査助成事業) ①新型コロナウイルス感染症の感染拡大や重症化を予 防するため、重症化するリスクの高い高齢者又は基礎疾 患を有する者で、無症状のものに対し、本人の希望によ る検査を無料で実施する。 ②③抗原定量検査 @8,180円×618件=5,055,240円 ④高齢者及び基礎疾患を有する者	5,726,000	5,170,740	4,750,500	2,374,000	2,317,000		59,500	420,240	抗原定量検査の実施にあたり、新型コロナウイルス感染者の早期 発見及び感染拡大予防につながった。
54	新型コロナウ イルス感染症 対策協力金 (第2弾)	商工観光課	①感染症対策に協力いただける中小企業や個人事業主 に対し、協力を支給する。 ②事業者を支給する交付金 ③(600件+80件)×3万円 ④県条例に基づき、「いばらきアマビエちゃん」を登録す ることが義務付けられており、現に「いばらきアマビエち ゃん」に登録されている市内の事業所を所有する中小企業 及び個人事業主(600件)に対し、感染症対策協力金とし て一律3万円を支給する。また、複数の対象事業所を有 する場合は、3万円を追加する。 さらに、県の営業時間短縮要請協力金(12月)の交付を 受けた飲食店事業者(80件)に対しては、前述の金額に3 万円を、複数の対象事業所を有する場合は3万円を追加 する。	20,400,000	16,470,000	16,470,000		16,470,000				新型コロナウイルスの感染対策に協力してくれる市内事業者に協力 金を支給したことで、多くの市内事業者がいばらきアマビエちゃんに 登録するなど、感染対策への協力が得られ、感染リスクの低減に寄 与した。
55	新型コロナウ イルス感染症 対策協力金 (第3弾)	商工観光課	①感染症対策に協力いただける中小企業や個人事業主 に対し、協力を支給する。 ②事業者を支給する交付金 ③(230件+500件)×3万円 ④市内に事業所等を有し、県の営業時間短縮要請協力 金(1~2月)の交付を受けた飲食店事業者(230件)に対 して感染症対策協力金として3万円を、複数の対象事業 所を有する場合は6万円を支給する。 また、現に「いばらきアマビエちゃん」に登録されている市 内の事業所を所有し、その登録が県条例に義務付けら れていない中小企業及び個人事業主(500件)へも、3万 円を支給し、複数の対象事業所を有する場合は、3万円 を追加する。	21,900,000	8,670,000	8,670,000		8,670,000				新型コロナウイルスの感染対策に協力してくれる市内事業者に協力 金を支給したことで、多くの市内事業者がいばらきアマビエちゃんに 登録するなど、感染対策への協力が得られ、感染リスクの低減に寄 与した。

No.	交付対象事業の名称	所管課	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	実施計画上の 総事業費	決算額						効果の検証・評価	
					A 総事業費	B 補助対象 事業費	C 国庫補助額	D 臨時交付金 充当額	E 起債額	F その他		G 補助対象 外経費
56	障害者総合支援事業費補助金	生活福祉課	<p>（特別支援学校等の臨時休業に伴う放課後等デイサービス支援事業）</p> <p>①目的・効果 特別支援学校等の学校一斉休業に伴う放課後等デイサービス利用者負担増額分に対し助成を行うことで、サービスの利用控えを防ぎ、療育支援の継続を図る。</p> <p>②交付金を充当する経費内容 一斉休業により生じた利用者負担の増額分（報酬単価及び利用回数の増加に伴う利用者負担増額分のほか代替サービスによる支援を行なった利用者負担分）</p> <p>③積算根拠（対象数、単価等） 【対象児童数】 ・一斉休業に伴う追加利用補助 60人 ・代替サービス利用児童 10人 【補助額】 ・R2.4月～6月分 138,232円（実績）</p> <p>④事業の対象（交付対象者、対象施設等） ・市内6事業所，市外3事業所 ・事業実施期間は令和2年4月から令和3年3月 ※但し，6月まで行われていた平日における休日単価での請求措置は，学校一斉休業が終わったため，7月以降は実施せず。 例：報酬区分1 10人以下比較 1単位＝10円 平日単価 660単位 休日単価 792単位</p>	141,000	138,232	138,232	69,000	34,558		34,674	-	特別支援学校等の学校一斉休業に伴う放課後等デイサービス利用者負担増額分に対し助成を行うことで、サービスの利用控えを防ぎ、療育支援の継続を図ることができ、障害をもつ児童、またその保護者の福祉の増進に寄与した。